新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)令和7年度事業効果検証の実施結果一覧

（単位：円）

基本情報			事業概要									事業の効果検証	今後に向けて
No.	事業名称	担当課名	事業目的・内容	事業費 （第2世代交付金）	KPI名称	目標 数値	実績 数値	結果	事業担当者による評価	事業評価の理由	備考	総合計画審議会(外部有識者)の意見	事業の効果検証結果を受けた今後の方針(事業担当課)
1	宇和島アートプロジェクト事業	市長公室	地域の魅力資源をクリエイティブの力によって引き出して新たな価値を創出してきたこれまでの取り組み（＝うわじまシティブランディング）を踏まえ、子育て世代層におけるクリエイティブ人材を含む魅力発信人材の発掘・誘致・育成・ネットワーク化につながる施策を複合的に展開することで、「地域のクリエイティブ文化」の醸成と「まちの賑わい創出」といった「まちの変化」を促し、市民の「地域の将来に対する希望」や「幸福度」などの向上を図り、魅力ある地域づくりにつなげていこうとするもの。	105,467,174円 （52,733,587円）	①本市の人口の社会移動数（人） ②宇和島クリエイティブコミュニティが関わった企画・プロジェクトの件数（件） ③「宇和島フォトフェスティバル」「UWAJIMA ART DESIGN WEEK 2026・2027」の延べ来場者数のうち、クリエイティブ人材の人数（人） ④宇和島クリエイティブコミュニティへの参加者数（人）	①▲387以下（人） ②1(件) ③150（人） ④10（人）	①▲311（人） ②3(件) ③1,797（人） ④5（人）	①目標値を達成 ②目標値を達成 ③目標値を達成 ④目標値の5割以上達成	地方創生に相当程度効果があった	R7年10月25日から11月24日の期間、宇和島フォトフェスティバル2025 UWAJIMA SIGHTSを開催し、来場者数は、36,570人であった。あわせて、「Uwajima Creative Community」による写真関連イベント、ポップアップイベント、ワークショップなどを実施し、目標を超える多くのクリエイティブ人材が参加した。全体的に目標を達成しており、「まちの賑わい創出」において一定の効果が得られた。		意見なし	
2	若者の人材育成と循環を目指すホリバタ改修整備事業	生涯学習課	若者の人材育成と循環を目指すホリバタ事業をさらに推進する目的で、中央公民館1階フロアを若者にとって魅力あるサードプレイスとしての価値を高めるような改修をし、若者の人材と循環を目指すソフト事業との相乗効果を図る。関係人口を含めた人材の環流を生む重要なパーツとして、大小様々なイベントができるスペースやプロジェクトルーム、展示スペース、交流と対話が生まれるカウンターやオープンキッチンなどを設け、若者たちの自由な創造性を育み、双方向の共同が生まれる仕掛けを取り入れた改修とする。 市内外で活躍する若者たちの活動拠点としてホリバタを改修整備することにより、若者と地域社会の接点としての機能や、産官学民の連携を強化することができる。また、新たな拠点で実施するソフト事業の拡充が、若者の創造性を高め、地域とのつながりや魅力を再発見するきっかけとなり、宇和島市に「残ろう・戻ろう・関わろう」とする人材を育成することができる。	88,004,190円 （44,002,095円）	①県外からの転入者数（人） ②延べ利用者数(人) ③ホリバタで実施するイベント・プロジェクト参加者（人） ④イベント・プロジェクトの件数(件) ⑤Uターン希望者数(人) ⑥インスタグラムのフォロワー数(人)	①0(人) ②0(人) ③0(人) ④0(件) ⑤50(人) ⑥300(人)	①-(人) ②-(人) ③-(人) ④-(件) ⑤5(人) ⑥161(人)	①～④改修工事期間中のため実績なし ⑤目標値の1割 ⑥目標値の5割以上達成	地方創生に効果があった	令和7年度は改修工事期間中であり、工事完了後に目的としている、サードプレイスとしての価値を高め、ソフト事業との相乗効果により、若者たちの自由な創造性を育み、双方向の協働を生むには至っていない。ただし、利用者へのアンケート実施によるUターン意向の実態調査や、改修工事後の施設利用に関して、利用者との話し合いを行うなど、事業実施により一定の効果は得られた。	KPI⑤については、平成27年に高校生を対象に実施した実施した「宇和島市ひと・まち・しごと創生総合戦略アンケート」において「高校または大学を卒業後は宇和島市に住みたくない」と思う生徒は72%に達していたことを踏まえ、高校3年生のホリバタ利用者およそ130名のうち、現在値を40名と推定したうえで初年度目標を50名と設定。 改修工事のため、令和7年度においては高校生の利用が減少。併せて、改修工事業務により、アンケートの実施時期が令和8年2月～3月となり、高校3年生の利用が低い時期での実施となったため、低調な回答結果となった。 今年度は11月から2月にかけてアンケートを実施予定としており、実施方法の改善を図りたい。	意見なし	